



2019年7月31日

各 位

会社名 株式会社 ラックランド
 代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
 (コード番号：9612 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 健太郎
 (TEL：03-3377-9331 (代表))

2019年12月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2019年2月14日に公表いたしました2019年12月期第2四半期累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)の連結業績予想数値と、本日公表いたしました同期間の実績値に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値と実績値との差異 (2019年1月1日～2019年6月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,000	196	226	112	13.65
実 績 値 (B)	15,983	△48	△98	191	23.40
増 減 額 (B-A)	△5,016	△244	△324	79	9.75
増 減 率 (%)	△23.89	△124.85	△143.72	70.81	71.43
(ご参考) 前期連結実績 [2018年12月期第2四半期]	20,072	501	495	282	36.27

2. 差異の理由

本年度は、第1四半期において顧客が事業展開や設備投資に対してやや慎重になっていたことと、当社単体で現在工事進行中の大型案件の第1期工事の引渡し時期が当第4四半期に変更されたこと、加えて、当社連結子会社においても請負先のゼネコン各社の工程進捗の遅れによる工期変更により、当第2四半期にて売上計上予定であった物件の引渡しが下期に繰延べとなったことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2019年2月14日に公表した期

初業績予想を下回りました。

また、これまで積極的に行ってまいりました人材採用・人材育成の効果が顕在化し、当第2四半期連結累計期間の売上総利益率は過去最高水準を達成しましたが、売上高減少分の売上総利益を補うまでには至らず、その他、営業外費用としてシンジケートローン手数料86百万円を計上したこともあり、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は期初業績予想を下回りました。

なお、特別利益として、保有株式の一部を売却したことによる投資有価証券売却益517百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益が発生し、期初業績予想を上回りました。

通期の業績につきましては、本年度の売上傾向は下期偏重型であることに加え、前述のとおり、工期が当初より伸びている案件について下期での完工が予定されていること、またロスを削減し、売上総利益率を高める社内体制が整いつつあることなどから、時期のずれはあっても見込みどおり進捗していると判断しており、2019年2月14日に公表した期初業績予想は修正しておりません。

以上